

学生相談室の利用状況

(2023年4月1日～9月30日)

2023年4月1日～9月30日までに学生相談室を利用した人は、のべ1065人でした。利用者の内訳では、学生の利用がもっとも多くなっており全体の90%でした(図1)。教職員の数値は、学生支援のために関わった教職員の割合を示しています。

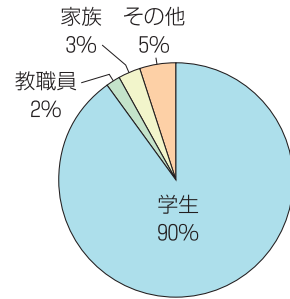
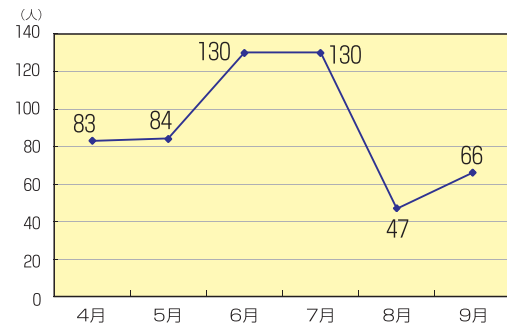


図1 相談室利用者内訳

図2 月別面談者数(延べ人数)の推移(ドクター面接含む)



個人面談数を月別にみると、前期は6月・7月がピークとなっています(図2)。8、9月は夏季休暇中で限られた期間しか開室していないため、面接者数が減っています。

学生の利用状況は、カウンセラーあるいはドクターとの「個人面談」の占める割合が最も多く52%でした。ついで、待合・談話スペースの利用が46%でした。(図3)。

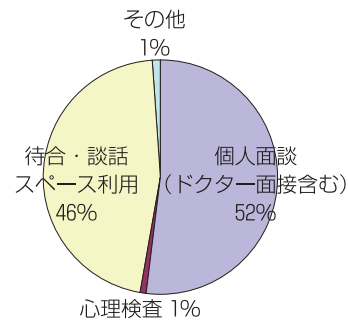
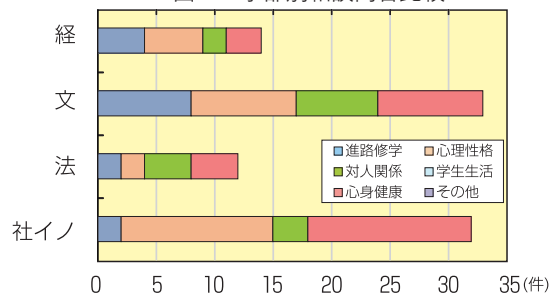


図3 学生の相談室利用状況

図4 学部別相談内容比較



相談内容を学部別のグラフにしました。相談内容として最も多いのは「心身健康」で、相談全体の33%でした。次に多いのは「心理性格」で31%、「進路修学」「対人関係」が18%でした(図4)。

<学部別相談者実数比率>

学部	経	文	法	社イノ
在籍者数に対する割合(%)	0.9	2.0	1.1	2.8

学生相談室だより Topics
発行年月日 2023年11月7日
編集・発行 成城大学 学生相談室

表紙絵: バラリース.N.T イラスト: 鳥居志帆

学生相談室だより

Topics

2023年度 No.42

特集: 自分を知ってコミュニケーション上手になろう



成城大学

自分を知ってコミュニケーション上手になろう



性格診断が流行ってるよね、やったことある？

あるよ。自分ってこういう性格なんだって分かって面白かった。



分かるー。あと、友だちの結果を見せてもらったら、だからこういう行動をするのかっていうのが理解できたのも良かったな。

確かに。自分と他人の違いが分かるとコミュニケーションがしやすくなるかも。



コミュニケーションの仕組み

コミュニケーションとは知識・心の中に起きていること（感情や思い）・考えていること・体験したことなどの情報をやり取りすることですが、実は情報が自分の意図した通りに相手に伝わることはありません。例えば、同じ映画を見ても、面白かった人、つまらなかった人、感動した人、そうでもなかった人、など感想は異なりますよね。同じ情報を受け取っても感じ方・考え方は人それぞれであり、この受け取り方の違いを生み出しているのが私たちの中にある「準拠枠」です。

準拠枠とは、情報を理解したり判断したりする際に使われる「ものさし」みたいなものです。私たちは外から入ってくる情報を、このものさしで測って判断しています。準拠枠はその人の気質、経験、価値観、自己概念(*1)などから形成されています。つまり、私たちひとりひとりの持っているものさしが違うので、同じ情報でもみんなが同じように理解するのは難しいのです。

自分と他人のものさしは違うということを前提にコミュニケーションが出来るようになると、「どうして分かってくれないのか」「普通はこうでしょ」とか「もっと察してくれてもいいのに」という考えでネガティブにならずに済むかもしれません。

また、自分のものさしの癖や傾向が分かれば、それを踏まえて情報を出したり受け取ったりすることが出来るようになり、更にコミュニケーションを円滑に進められるようになるかもしれません。

ジョーちゃんとセイコちゃんが性格診断をすることでコミュニケーションがしやすくなったと感じたのは、そういう理由なんですね。

学生相談室では、各種心理検査を用意しています。自分を客観的に理解し、自己の成長や対人関係にぜひお役立てください。

(*1) 自分が、自分自身について抱いている考えのこと。

属性（学生・社会人／国籍／年齢 など）

性格（明るいです、おしゃべりです、など「態度」や「行動傾向」）

趣味・欲求（旅行が好きです、車がほしいです など）

今の状態（元気です、少し眠いです など）



ジョーくん セイコちゃん